

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成28年2月18日(2016.2.18)

【公表番号】特表2015-507284(P2015-507284A)

【公表日】平成27年3月5日(2015.3.5)

【年通号数】公開・登録公報2015-015

【出願番号】特願2014-553386(P2014-553386)

【国際特許分類】

G 06 F 1/20 (2006.01)

C 09 K 5/04 (2006.01)

H 05 K 7/20 (2006.01)

H 01 L 23/427 (2006.01)

【F I】

G 06 F 1/00 360C

C 09 K 5/04

H 05 K 7/20 R

G 06 F 1/00 360A

H 01 L 23/46 B

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月21日(2015.12.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

使用中に少なくとも2次元の複数の向きに可動であるハウジングと、

前記ハウジング内に配設される熱発生コンポーネントと、

前記ハウジング内に配設される熱伝達装置とを備えており、

前記熱伝達装置は、熱伝導及び相転移を利用して前記熱発生装置から熱を伝達するよう構成される複数のヒート・パイプを有しており、前記複数のヒート・パイプは、前記複数の向きを介した前記ハウジングの移動中に前記熱発生コンポーネントから略均一な熱伝達を提供するように配置される、

装置。

【請求項2】

前記複数のヒート・パイプは、略反対の方向に配置される第1及び第2のヒート・パイプを含む、

請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記複数のヒート・パイプは、第1及び第2のヒート・パイプを含み、

第1及び第2のヒート・パイプのそれぞれは、蒸発部及び凝縮部を有し、

第1及び第2のヒート・パイプの前記凝縮部は、前記第1及び第2のヒート・パイプの前記蒸発部よりも互いから遠くに位置付けられる、

請求項1に記載の装置。

【請求項4】

前記ハウジング内に配設された複数のファンをさらに備えており、それによって、前記複数のヒート・パイプの少なくとも2つのヒート・パイプが、それぞれの前記ファンによ

って冷却される、

請求項 1 に記載の装置。

【請求項 5】

ディスプレイ装置をさらに備えており、前記ハウジングは、前記ディスプレイ装置が、ランドスケープ向きにおいてユーザが視認できる少なくとも 1 つの向きをとるように構成され、前記複数のヒート・パイプの少なくとも 2 つのヒート・パイプは、前記ランドスケープ向きにあるときに略水平に配置される、

請求項 1 に記載の装置。

【請求項 6】

前記ハウジングは、使用中に、ユーザの一方又は両方の手によって保持され、前記少なくとも 2 次元の向きに移動されるように構成される、

請求項 1 に記載の装置。

【請求項 7】

前記ハウジングはモバイル通信装置として使用するために構成される、

請求項 6 に記載の装置。

【請求項 8】

前記複数のヒート・パイプのそれぞれは、单一拡散板の使用を介して前記熱発生装置に熱的に結合される、

請求項 1 に記載の装置。

【請求項 9】

前記熱発生コンポーネントは処理システムであり、装置はコンピュータ装置である、

請求項 1 に記載の装置。

【請求項 10】

第 1 及び第 2 のヒート・パイプを備えており、第 1 及び第 2 のヒート・パイプは、熱伝導及び相転移を利用して、第 1 及び第 2 のヒート・パイプに近接して配設される熱発生装置から熱を伝達するように構成され、第 1 及び第 2 のヒート・パイプは、前記熱発生装置から略反対の方向に配置される、

熱伝達装置。